

まっとうな政治を日野市から

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan



もりさわ通信

【第1号】

日野市議会議員 **森沢美和子**

- 社会福祉士
- 精神保健福祉士

《ご挨拶》

2月の市議会議員選挙では多くの市民の方々から立憲民主党へのご期待をいただき、4,493票を得ることができ、日野市議会に送り出させていただきました。

その責任の重みを受け止め、市民により近い立場で意見を言うには、市議会での立ち位置はどこであるべきかを探って参りました。

多くの方にアドバイスをいただき、様々な活動や学びを経て6ヶ月が過ぎてしまいました。これまでの福祉分野での経験を活かし、2回の定例会も終わりました。

市民の皆様への報告はホームページ等を通して行ってまいりましたが、こういう通信を通しての発行は本号が初となります。

大変お待たせいたしました。



市議一期目のお約束

☆立憲民主党唯一の市議として

☆女性・子育て世代、福祉専門職の立場として

高齢者・障がい者
マイノリティ

若者・女性・子ども

社会的弱者の暮らしと多様性を守り、生きがいと暮らしやすさ、豊かな心を育む教育、福祉政策の充実を図ります。

【発行元】 森沢美和子と共に歩む会

【連絡先】 〒191-0062 東京都日野市多摩平5-12-7-202

《電話・FAX》 042-587-6142

《メール》 info@morisawa-miwako.com

活動報告

右でも左でもなく前へ、市民の暮らしの声、困ったときの声に寄り添うことが私の進むべき方向です。森沢美和子の取り組みは、立憲民主党地方自治体議員初の女性候補として、ジェンダー平等からスタートいたしました。



選挙報告と市民の意見を聞くランチ会



セクハラ被害を許さない集会参加



ふれあい橋トイレ視察



公民館まつり



日野市合同水防訓練



ひの新選組まつり



サロンドハーモニー南平訪問

仲間の選挙応援!



当選後すぐに
町田市議選応援2月



練馬区議補選4月



立川市議選6月



杉並区議補選6月

■立憲民主党東京都連合設立大会(4/25)

立憲民主党設立大会で議長団となりました。



■立憲民主党、東京政策委員になりました。

政策委員会
(7/9,8/6,8/19)



■立憲民主党東京都連で西日本集中豪雨災害

ボランティア派遣の一員となり、岡山県倉敷市真備町へ行ってきました。(7/26)

第2回日野市議会定例会（会期）6月1日～6月19日

市民本位のソーシャルワーク(対面支援を含む)について ～女性、子どもの権利を守るために～



初めての一般質問でも取り上げた女性問題を、6月の一般質問でも女性と子どもの権利を守るため、女性相談のソーシャルワーク体制強化、子ども専用相談電話設置、カウンセリング治療の大学との連携を提案、性教育を学習指導要領に上乘せすることの検討会開催の必要性、センシュアルハラスメントについて実態などを質問しました。



性教育の根底にあるのは、**リプロダクティブヘルスアンドライツ**の視点であり、1995年に北京における世界女性会議によって「生涯を通じた女性の健康」という考えが進められました。子どもを産む・育てる役割に関わる女性の健康という考えに基づき、幼年期から、思春期、高齢者までの女性の健康、障害のある女性の健康と生活、女性への暴力の対応の必要性が求められてきました。

しかし今の時代は、女性単身世帯の貧困、DVや性に基づく暴力、社会経済的な状況が女性の健康や生命を脅かしています。女性個人が抱える生き難さや苦しみは社会的文化的規範により作り出されています。まさに『**個人的なことは政治的なことである**』と思います。ジェンダーの問題は、『政治でなければ変えられない』課題です。

★議会内容詳細は日野市役所ホームページ日野市議会録画中継でご覧下さい。

森沢美和子の日々の活動・主張は、ホームページ・Twitter・Facebookからご覧頂けます。

《公式HP》 morisawa-miwako.com

森沢美和子 ホーム

検索

立憲民主党の主張・政策

☆草の根からの民主主義

社会の抱えている課題は上からの政治に限界を感じている。子育てや介護、健康に不安を抱えている方が多くなっていて社会が分断され格差が拡大している。だから方向を変えなくてはならない。上からではなく、苦しいとき困っているときにしっかり支えていく下からの政治へと変えていきましょう。→



自己責任で通用するときには政治はいらない。自己責任ではどうにもならないときに政治はある。教育、医療、介護、子育て、具体的にどんなサービスが提供されるのか担っているのは、市役所と市議会である。

国の枠組み仕組みの中で行っている。市議会議員が身近な声を聴いて暮らしを底上げしていかなければ良い暮らしはできない。思いを同じくする仲間が市議会でも身近な声に寄り添い、そして国がその声を受け止め国の政治も、社会を下から押し上げていく。それが立憲民主党が掲げていることである。

(枝野幸男代表の応援演説より)



☆原発〇 自然エネルギー推進

福島を忘れない！ 現地視察



現地に行ってみると、被災地にしかわからないことたくさんあります。



☆ジェンダー平等

東京都連草の根勉強会の企画を行い、30名の議員や関係者が参加しました。

勉強会企画リプロダクティブヘルツアンドライツについて(一般質問でも取り上げる)

立憲民主党 主催 立憲民主党 三多摩ブロック 草の根勉強会
共催 立憲民主党ジェンダー平等推進本部

～初歩の初歩を知り、議会での対応を考えよう！～
リプロダクティブヘルツアンドライツ
と性教育

- 講師 拓植あづみさん 明治学院大学教授
- 日時 5月18日(金)17:00～19:00
- 会場 衆議院第一議員会館B1第1会議室
- 参加費 1,000円
- 申込 下記メールにて

リプロダクティブヘルツアンドライツとは、『性と生殖健康・権利』が中心です。1994年にシニアの国が合意した国際会議(世界人口会議)で採択された。この会議で性教育の重要性が認められ、国連加盟国は、2016年までに17歳未満の子どもの妊娠を20%削減することを目標としました。また、議会と教育との関係をもつて、勉強会を実施します。『リプロダクティブヘルツアンドライツ』を通して、日本の国連加盟国から、世界の国々との対応を学びたいです。
関心のある方は是非、ご参加ください。

拓植あづみさん
【プロフィール】
政治学博士、生命倫理学、国際法とジェンダー(性差別)の国際法、不妊治療、小児科の助産士(フェムド)などを専攻の教育の経験、研究などから、国連加盟国との対応についてジェンダー平等を推進しています。

☆安保法制下の憲法九条改悪反対

政権の暴走
市民の力で歯止めを！



現政権下の労働時間データねつ造、公文書改ざん、日報隠しなどの行為、「働き方改革」法案、「カジノ」法案などから国民の暮らしの安全は守られたのでしょうか。

原発被害の福島、集中豪雨の岡山へ行ったときに聞いた被災地の声。人口の4分の1もいる高齢者の声、障がい者や子ども、社会的弱者の声はなかなか届いてない現状聴く場を設けます。立憲民主党はこれからも継続的に市民の皆さまの声を聴いていきます。



今後の活動

- ☆立憲民主党東京都連パートナーズ集会決定! (8月30日(木)18時30分から後楽園ホールにて)
- ☆東京都連三多摩ブロックでは、**立憲パートナーズ集会**を開催します。
- ☆森沢美和子の**立憲カフェ@ひの**を10/6 15:30より行います。(詳しくは別紙ご参照)
是非ご参加いただき、皆さまの声を聞かせてください!

お知らせとお願い

- *事務所が移転しました。
- ***森沢美和子と歩む会**を立ち上げます。森沢美和子の活動にご賛同頂ける方、ぜひご協力ください。(入会金、年会費は不要です。)→詳しくはホームページをご覧ください。
- *今後も通信をお届けさせていただきます。